

ウルトラマンガイア

キャラクター設定

Version 10

小中千昭
Chiaki J. Konaka

1998/08/12

【プレ・ストーリー】

二十世紀末、世界各国に前例の無い程に優秀なアインシュタイン・クラスの、それも皆一様に年若い科学者達が輩出した。中には少年と言える年齢の者も含む彼らは、「アルケミー・スターズ」という汎世界規模のネットワークを形成し、それぞれの得意分野を複合させ、その叢智を結集していこうと試みる。

やがて、彼らは、自分たちに「ある使命」がある事を徐々に悟り始める。この地球と人類に、何か危機が及ぼうとしているのだ。その防衛システムとして自分達は人類最高の叢智を、この地球から授けられたのではないのか？

アルケミー・スターズの電子工学チームが作り上げた、世界初の光量子コンピュータは、ある“予言”を伝えていた。

この地球と人類に破滅をもたらす危機が襲い来る。

アルケミー・スターズは、国連と連動し、**G.U.A.R.D.**
Geocentric Universal Alliance against the Radical Destruction
対根源破滅地球防衛連合を設立。
彼らの科学の粋を極めた物理防衛システム

XIG expanded Interceptive Guardians を構築していた。

主人公・高山我夢“ガム”は、日本アルケミー・スターの中でも最も優秀な年若い科学者であった。
彼が開発した反陽子浮揚メカニズム＝リパルサーリフトは、巨大な対破滅防衛の防人となる滞空前線基地エリアル・ベースを実現した。

この様な過剰とも言える防衛態勢をとる事に懸念する見解もあった為、これらの開発は極秘裏に進められていた。

そして、
「その日」が来た。

【登場人物】

†レギュラー **XIG** **eXpanded Interceptive Guardians**

石室 “ コマンダー ” 章雄 (45)

汎地球防衛機構**GUARD**所属。その防人たる**XIG**のコマンダー。

防衛隊統幕本部より移籍してきた。

常に冷静沈着。指揮官として理想的な人物像。

人間味が現れるのはやや後になるが、基本的には家庭は棄てている。基本的にはエアリアルベースに常駐し、現場へは向かわず。

千葉 辰巳 防衛連合参謀 (51)

防衛連合からオブザーヴァーとして派遣。エアリアル・ベース常勤の**GUARD**参謀。

文官であり、長く国連にて各国との折衝をしてきた辣腕のネゴシエーター。エアリアル・ベースでは、行き過ぎを監視する趣旨で赴任しているが、基本的には石室よりもや攻撃的な発想をする。人柄は柔らかく、孤独な石室の相談相手になる場面がいずれ出てこよう。

堤 “ チーフ ” 誠一郎 (33)

現地に飛んで、攻撃機チームを指揮する“チーフ”。極めてプロフェッショナルな現場監督。

人間臭い面はおいおい出てくるが、まずは“プロ”という雰囲気強く打ち出したい。

高山 我夢 “ ガム ” (20)

年若い天才科学者のアソシエーション「アルケミー・スター」の日本代表。彼が開発したリパルサーリフトが、エアリアル・ベースの推進機関となっている。

彼はウルトラマンとなりたいと強く願い、その力を得る。またその能力を最大に活かす為に、無理を通してXIGに参加する。

科学的思考は冷静であり大人びているが、普段は子どもっぽい面があって、明るい性格。時間にはルーズという二面性を持ったキャラクター。

オペレーターズ **XIG Operators**

佐々木 敦子 (21)

コマンダー・ルームのオペレーター。“アッコ”と呼ばれる事もある。

オペレーション任務時は極めて冷静に、状況把握と伝達をこなす。その場を離れると、普通の女の子。我夢をからかって遊ぶ悪い癖がある(笑)。

ジョジー・リーランド (20)

豪日のハーフ。エアリアル・ベース艦内のアナウンスを主に勤める。

普段は割とボーッとしているが、服のお洒落は敦子の羨望の的。メカフェチ。プリント基盤マニア。

チーム・ライトニング Team Lightning

怪獣が出現した際、空から攻撃するチーム。基本はこの若いエース格が揃ったチームが出動するが、ファルコン、クロウ各チームが出る場合もある。

梶尾 克美 (24) チームリーダー

先制攻撃機チーム、ライトニングのリーダー。防衛隊のトップガンであったのを引き抜かれて **XIG** に。高いプライドを持ち、操縦には絶対の自信を持っており、当初は、我夢に反目している。

北田 靖 (23)

華奢な躰の学究タイプだが、肉体と精神は鍛え抜かれている。戦術面で梶尾に助言するケースもある。我夢には強い関心を持っているらしい。

大河原 聡志 (25)

大柄で野放図なタイプ。細かい事にはあまり気にしない。ファイターの操縦も力でするタイプ。

チーム・シーガル Team Seagul

ピースキャリアのパイロット、神山がリーダーとなり、救助部隊としてファイターチームやハーキュリーズを支援。災害救助的な活動を行う。

シーガルというチーム名を遣うのは、救援メカ出動時のみ。

この項の執筆 = 太田 愛

神山 篤志(28) チームリーダー

北海道様似市出身。普段は、おっとりした柔和な性格だが、一旦、現場に入るや、素早い判断と鉄の意志でレスキュー活動にあたる。18歳の時、単身、戦火のボスニアに渡り、現地のNGOに参加、レスキュー隊員として活動する。千葉参謀に見出され、チーム・シーガルのリーダーに抜擢される。

松尾 蓮二 (25)

東京都台東区浅草出身。チャキチャキの江戸っ子タイプ。看護師時代にレスキューに目覚め、猛勉強の末、難関を突破して **XIG** に入隊。竹細工師だった祖父の血を継ぎ手先が器用であり、レスキュー装備の改良に熱心。マイクルにデタラメな日本文化を吹き込んでいる。

マイクル・シモンズ (27)

コロラド州デンバー出身。敬虔なクリスチャン家庭に育つ。好奇心が強くおおらかな性格だが、ネジが一本抜けている。US山岳レスキュー隊のヘリパイロットを経て、**XIG** に所属。趣味は日本文化研究。オフは古寺巡りに凝っており、わび・さびを究めようとしている。

チーム・ファルコン Team Falcon

ベテラン・パイロットが揃うチーム。ライトニングに比べると機動力には劣るが、沈着な態度、作戦が特色。

米田 達彦 (34) チームリーダー

落ち着いた雰囲気、かつての防衛隊トップガン。経験を積んだ判断が必要なミッション時に、チームを率いて出艦。プロとしての誇りが最も彼には重要な事。堤の絶対的な信頼を得ているが、ライトニングといった若手を育てる時代だと考えている様だ。

林 幸市 (33)

防衛隊北海道時代、梶尾の直接の先輩であった。若い頃は梶尾の様なタイプだったが、演習時にブラックアウトに襲われ、墜落の危機となった時、米田の交信に救われた。以来米田の信奉者となり、堤が米田をXIGに喚んだ際に志願して続いた。

塚守 亨(32)

実戦というよりは、飛行戦術実験（ブルーインパルス）の第一人者。飛行時間は同年代のパイロットよりずば抜けて長い。また空を飛ぶものの恐ろしさも誰よりも知っている。一見穏和そうだが、自己破壊的な衝動に囚われる瞬間があり、それを克服しようとする強い意志と、彼の中では葛藤がある。

チーム・クロウ Team Crow

女性のみで構成されたチーム。実戦経験は無いが、演習ではライトニング、ファルコンに次ぐ成績を収めている。メンバーはいずれも長身。

稲城 美穂 (26) チームリーダー

防衛隊で初の女性F2(F-16改)ドライバー(Pilot)となった、伝説的な存在。自らの意志でXIGに参加し、女性だけのチームを編成するも、なかなか実戦投入されず焦れている（10話時点）。“最初の一人”としての過大な構えがフェミニスト的態度となって現れるが、本質的には男っばいさっぱりした性格。

三島 樹莉 (24)

国際プロジェクトとなったファイター開発に携わっていたが、そのマシンそのものに惚れ込んでファイター・パイロットとなるべく、米航空機メーカーのエンジニアから転身してきた。可愛らしい外見だが、ガラが悪い。ターボ・ジェットとしてのファイターについては、パイロット随一の知識を持つ。

多田野 慧 (22)

陰がある風貌。過去のトラウマを克服する為に、ファイターに乗っていると噂されるが、過去に何があったのか明かでない。

チーム・ハーキュリーズ **Team Hercules**

GBT スティンガー、MLRS バイソンというハイパワー地上走行マシンを担うチーム。
この項の執筆 = 古怒田健志

吉田 悟 (30) チームリーダー

防衛軍の叩き上げで陸戦のエキスパート。徹底的に鍛え上げられた肉体を持ち、特技はボクシング。早くに結婚し、年の割には子沢山（一男次女）。

志摩 貢 (35)

XIGきっての怪力の持ち主。格闘技全般に長け、特に空手を得意とする。性格は豪放磊落かつ純情。冗談好きだが、致命的にオヤジなセンスが玉に瑕。

桑原 孝信 (28)

兵装にマニア的に詳しいメカニック担当。温厚で控えめな堅実派。そのため猪突猛進を旨とする吉田、桑原コンビのフォロー役に回ることもしばしば。

チーム・マーリン **Team Marlin**

海洋活動のチーム。潜水艇を駆る。

横谷 勝歳(28)チームリーダー

今井 源太郎(25)

巖 均悟(32)

† サブ・レギュラー / その他

アルケミー・スターズ

世界各国の少年～青年科学者達。基本的にはヴァーチャル会議などでその集合は見せるが、生物分野、宇宙物理学分野、地球外生命研究分野などの専門家はエリアル・ベースに交代で来ており、**XIG**に協力。

ダニエル・マクフィー (24)

アルケミー・スターズ議長。

KCB取材クルー

地上から怪異を追う視点として、たまに登場。

田端 健二 (28) ディレクター

局内でもアウトロー的存在。これまで秘匿されていた**XIG**に対し、世間とは違って疑問を抱いており、独自の観点で取材をしようとしては——失敗している。

井上 “リンブン” 倫文 (25) 報道部カメラマン

田端のAD、運転手、子分も兼ねる（させられる）。
覇気の無い感じの、のんびりした性格。ちょっと玲子に気があるらしいが、自分でアタックする勇氣無し。

吉井 玲子 (24) リポーター

アナウンス部所属。しかし何か大失敗をしたらしく、今は田端班に専従させられている。
最初は普通の女の子だが、怪獣災害を追っていく内に段々感覚がマヒしてきたらしく、危険な場所でも平気。ただしメイクには常に気を使う。

ウルトラマンアグル

我夢が変身するウルトラマンに敵意を持つ。
その正体は、数年前にアルケミー・スターズから突如脱退し行方を消していた、我夢にとっては兄の様な存在だった人物

藤宮 博也 (22)

我夢と敵対するウルトラマンアグルになる男。
怪獣と戦う時もあれば、我夢を叩きのめす場面もある。彼もまた自ら望んでウルトラマンになった男である。常にクールな言動。